

# コミュニティ No.60

発行／常盤校区コミュニティ推進協議会

# 常盤



## 初優勝の常盤台県営住宅チーム



パワー全開



ウーマンパワーは凄い



びよんびよんキョンシー

自治会対抗の競技では、総合の部で「常盤台県営住宅自治会」がヤングパワーの爆発で初優勝の栄冠を手にした。また、リレーの部は、「岡ノ辻自治会」が10年連続で優勝した。

朝から好天にめぐまれて「第22回区民大運動会」が開催された。多くの参加者が地域の方々の親睦を深めることができた。昨年から加わった競技「借り者競争」は、カードに書かれている人を探して一緒にゴールするのが、なかなか人が見つからずに右往左往したり、「日傘の女性」のカードでは、小さな女の子が大きな日傘で走るかわいらしい姿も見られた。競技「ロケット打ち上げ」の発射台は、新しく作ったために使いこなす技術を要したかも？

### 区民大運動会



新館長 中村 洋様

四月一日付けの人事異動により、常盤ふれあいセンター勤務を命じられ、身の引き締まる思いで着任いたしました。校区の皆様には、大変お世話になることになりました。

ここ常盤には、市民の憩いの場である常盤



前館長 西村 章様

在任中は、多くの方に支えを頂き、職務を終えることが出来ました。僅か一年間でしたが、「心和む、明るく、住みよい地域」づくりにより、少しでも役立つことが出来たらと、私なりに常盤校区の課題に向き合いました

お世話になりました

が、退任して振り返ると力足らずで多くの課題を残したままになり、申し訳なく思います。今後は、校区の運営をコミュニティ組織」が中心となり再構築することが大切になってくると思います。各団体の持てる特性と知恵を出し、より豊かな常盤校区を創造されますように祈念いたします。

最後に常盤校区の皆様のご活躍とご健勝をお祈りし退任のご挨拶いたします。

よろしくお願ひします

公園、風光明媚な常盤海岸とすばらしい自然環境があり、ここで仕事が出来ることから心から喜んでいきます。

校区の役員さんを始め皆様のご指導を仰ぎながら、校区の発展のために微力ではありますが、頑張りたいとおもっています。皆様のご支援とご指導の程よろしくお願ひ申し上げます。

もっぴやんの運動会

常盤老人クラブ

5月26日常盤小学校体育館で校区老連の親睦運動会が開催されました。参加者は、総勢75名で、63歳から最高齢は93歳の真鍋さん（亀浦）と年齢も幅広く、

「ストライク&ボール」

お尻で風船を割る「けつあつ測定」や「ピンボール」や「あなたの「けつ圧」は？」

中、楽しい運動会が催されました。

参加者は、笑いの渦の中で思い思いのひとときを楽しみました。

皆さんにケガもなく終わったことが一番。

など、色々と独自で工夫された種目があり、



開会式 元気で安全に



ピンボーリング



あなたの「けつ圧」は？



教室紹介 『太極拳教室』

ふれあいセンターの教室のひとつに太極拳があります。毎週木曜日の午後一時三十分から三時三十分位まで、河野静香先生の楽しくきびきびした指導のもと、私たちは和気あいあいと体を動かしています。太極拳は、ゆっくりとした動きと深い呼吸で血行を良くして『氣』を養う健康と美容に良い拳法です。

また、練習は年令と体力に依じて無理なく行います。ため誰でも出来ます。太極拳を続けることで友達との輪も広がり、情報交換の場もあります。忙しい暮らしの中で週一回ゆっくりと体を動かして、みんなで気分をリフレッシュさせています。

教室は、現在二十七名の参加者となり、ほぼ満

可搬ワイヤレス放送機器

常盤ふれあいセンターに「屋外可搬式放送設備機器とワイヤレスマイク2本」が設置されました。

これは、財団法人自治総合センターが、全国自治宝くじの普及広報事業の一環として

行っているコミュニケーション助成事業で整備されたものです。

子ども会や校区の諸団体が、屋外などで小行事をするときに活躍の場があると思います。大いに活用してください。



員状態です。大盛況の中、皆さん一生懸命です。以上が太極拳の現在の状況です。

世話人 植木陽子

新しくなった

公用車

平成六年四月に配車された公用車も寄る年波に勝てずポンコツ状態で、エンジンも悲鳴を上げている状態でしたが、この度、新しく公用車が配置されて校区の広報に活躍します。

厚生労働大臣表彰報告 故 紀藤 堯 文 様

亀浦北の自治会長と民生児童委員を兼任され、去る平成十八年十月にご逝去された故紀藤堯文さんに、永年にわたる民生児童委員活動の功績が認められ、厚生労働大臣より表彰されました。紀藤さんは、昭和五十四年から昨年まで約三十年間民生児童委員として地域の良き相談相手として真摯な活動をされました。この荣誉を影で支えられた奥様とご佛前に報告しました。(草野筆)



シリーズ④  
ときわの話  
いろいろ



国道の北側にある

みずわけ  
水分

字名「水分」は、国道を挟んだ則貞二丁目と五丁目の一部にあつて、本来は水分(みくまり)と言つて水を配る、水を調整するところを言った。常盤池から流れる東幹線水路の水を、草江、則貞、野原の水田に、いつ、どれくらい流すかを調節する所でもあつた。水田が多かつた昔は、水路の堰板一枚の高さでも争いがあつたそうだ。昭和三〇年頃まで水車も活躍していた。

平成 19 年度 校区主要行事

- 5月13日 区民大運動会
- 8月4日 区民慰霊祭・夏祭り
- 9月17日 校区敬老会
- 11月10/11日 校区文化祭
- 1月13日 どんど焼き

平成 19 年度 スポーツ行事

- 7月8日 区民ソフトボール大会  
バレーボール大会
- 7月15日 常子連球技大会
- 9月2日 市民ソフトボール大会  
バレーボール大会
- 10月8日 市民体育大会  
ニュースポーツフェスティバル
- 11月18日 区民ソフトバレーボール大会
- 12月16日 市民ソフトバレーボール大会
- 1月27日 区民インディアカ大会
- 2月17日 市民インディアカ大会

# 歩道が変わる

常盤地区（有料道路入口から常盤公園入口バス停）の上り車線側歩道が、バリアフリー歩道に変わります。歩道の特徴は、お年寄りや車いすの方も通行しやすい平坦な歩道、雨の日も快適に通行できる水を透す歩道（透水性舗装）、安心して通行できる視覚障害者誘導用ブロック、地震などの災害に強い情報ボックスが設置され光ファイバーケーブルが収納されます。



完成予想の歩道



施工前の歩道

第59号の香典返しで、平田様のお名前が間違っていました。紙面をもってお詫びいたします。

## 香典返し

次の方々から香典返しとして、常盤校区社会協議会にご厚志いただきました。常盤校区の福祉事業のため有意義に使わせていただきます。厚くお礼申し上げます。

- 向田 晴美様 ご尊父 博 様
- 長峰 俊彦様 ご尊父 亨志様

常盤校区社会福祉協議会

## コミュニティ常盤編集部員の募集

編集部員の輪を拡げるため部員を募集しています。編集会議は、井戸端会議の状態です。ストレスの解消になりますよ、気軽に応募してください。

連絡先：常盤ふれあいセンター TEL22-1455

## ときわ夏のお楽しみ会

7月24日(火) 7月26日(木)  
場 所 常盤ふれあいセンター  
時 間 10時～11時30分  
パネルシアター・英語で遊ぼう  
腹話術・手遊び・手品・絵本など  
主催 常盤民生児童委員協議会

## ペリカンの声

昔のおじさん達は、学校帰りに道草すると「早う帰らんと茶がゆがさめるど、風呂の水くみもせんにやあいけんじやろーが」と言つた具合で子ども達に声をかけて見守っていた。

そして、高校時代のころ、義足の友達と小倉に遊びに行くガラ空きの電車での出来事・・・自分が彼の真似をして歩き回っていたとき、岩鼻駅で乗り込んだお爺さんが前の席に座ったまでは何事もなかった。ところが義足の彼が歩き回って「歩き方が違う」と笑って席に座ろうとした時のことである。いきなりお爺さんが、彼に平手打ちをして「友達同士でも障害者の真似をするんじゃない」と一喝して西宇部駅（現宇部駅）に降りて行かれた。これが地域の教育力だと今にして思う。

# コミュニティ

## No.61

発行／常盤校区コミュニティ推進協議会

# 常盤



現在の「眺め橋」と左上は昭和初期の「眺め橋」

## 常盤池物語

子ども委員会の行事で、子どもたちと一緒に「常盤池」の昔を学習した。

常盤ふれあいセンターで「常盤池物語」のスライドで歴史を学び、昔の写真と現在の写真を比較して頭の中にイメージを描いて、現地向かった。

最初に、「南蛮茶屋」のあった場所へ、今は「飛び上がり地蔵」が移転している。公園内では、眺め橋で「ひさご亭」が写った写真と見比べて???

昔、眺め池は埋め立てて噴水池になったが、その西には「稻荷神社と金毘羅宮」があった。今も残っている太鼓橋と階段を通り、菖蒲苑手前の松林にある炭生跡などを見て回り、仕上げは「ツイストパン」を竹に巻き、炭火で焼いて美味しく食べた。

# 2007年校区文化祭

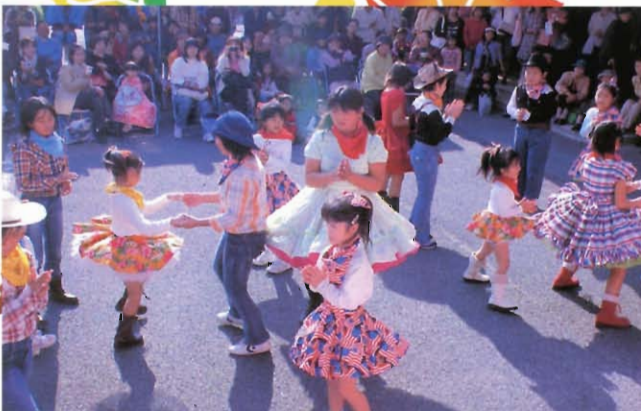
食欲の秋？読書の秋？芸術の秋？どれもみんな良い秋です。校区も芸術・芸能の文化祭が行われました。子どもたちの出番も多く和やかに盛り上がりました。



力作がいっぱい



西岐波中の演奏



後岡ノ辻子ども会のスクエアダンス



餅の数ほど人の数



健康教室の元気なダンス



常盤中のバトン演技



みんなで食事の準備

**ときわ通学合宿**  
 あまり聞きなれない「通学合宿」は、子どもたちが、共同生活をしながら学校に通いますが、特に地域の皆さんとの温かいふれあいを通して人間の素晴らしさやふるさとへの素晴らしさを体感させ、「ふるさとを愛する人間」を育成するものです。今年、初めてふれあいセンターで行い、風呂は近所に「もらい湯」としてお世話になりました。子どもたちには一番の思い出になったようです。

寿 常盤敬老会

校区の敬老会が、ときわ湖水ホールで行われました。常盤小学校一年の榊富君と六年の高重さんが作文を朗読して、お年寄りを励ましました。



高重 春香さん



榊富 直人くん

常盤区民 ソフトバレーボール大会

男子の部

- 優勝 北則貞
- 準優勝 大沢西
- 3位 大沢西前

女子の部

- 優勝 大沢県住 1,2 号棟 B
- 準優勝 東則貞
- 3位 後岡ノ辻

混成の部

- 優勝 岡ノ辻 A
- 準優勝 大沢西後
- 3位 後岡ノ辻

常盤ジュニアバレーボールクラブ JVC

私たちは常盤 JVC は、今年の 4 月から練習を始めたばかりのチームです。男子も女子もみんな仲良く練習にはげんでいます。練習はきついときもありますが、みんな一生懸命に楽しくやっています。



3世代常盤交流大会 わくわく常盤

今年、初めて「わくわく常盤」の一員として参加した。常盤3世代交流大会で担当した「猫飛んじやった」は、校区運動会の「ロケット打ち上げ」を、子どもたちがやってみたいと言う希望をかなえたものです。

板の端に置いた猫のぬいぐるみを飛ばして区画の得点を競うものです。なかなか思ってた所に飛んでくれず、子どもたちでなくても大人も熱くなってしまう

まだ試合の経験が少ないので練習をいっぱいしたいです。そして目標は、試合でまずは☆1勝☆することです。

キャプテン 河村 知実  
副キャプテン 橋本しおね



グラウンドゴルフで交流



新ゲーム「猫飛んじやった」

した。団体戦では、各チームの代表者の熱戦に、皆が一つになって応援する姿に、準備した者にとつて大変うれしく感じました。

山野 道生



漢陽寺門前にて

人権教育推進協議会 女性学級合同研修会  
人権教育推進協議会と女性学級の面々で、周南市へ研修へかけました。人権協は少数のため研修の計画倒れが多く、今回は女性学級と一緒に研修しました。漢陽寺では、錦川上流の水をトンネルを掘って引いた灌漑技術に驚感しました。  
「天を回らし、戦局を逆転させる」とした回天基地の天津島で、祖国を守るため、多くの若者がここから出撃した想いに胸をいためました。





# コミュニティ

## No.62

発行／常盤校区コミュニティ推進協議会

# 常盤

## 大好き！絵本の読み聞かせ



パネルシアター

## カッターランド お楽しみ会

2月、小雪の降る中ふれあいセンターで、未就園児を対象にしたカッターランドがあり、元気なちびっこ達が集まりました。身長・体重測定の後、マジックや絵本の読み聞かせ、体操などを行い、今回は、大沢西の前の長谷川さんによるパネルシアターがあり、子ども達は興味津々でした。

フェルトのパネルに歌や物語に合わせて、おもちゃの兵隊さんが登場したり、「大きなかぶ」では、お爺さんとお婆さん、そして動物達が出てシアターの世界に入り、一緒にかぶを抜きました。抜けたときには、大喜びでした。最後は手作りコマを回して遊び、お土産にもらって帰りました。

## がばいばあちゃんのロケ地を訪ねて

ふれあい旅行の早朝、突然の雪化粧にびっくりにしての出発。車中「がばいばあちゃん」の映画鑑賞で予習充分にロケ地へ到着。TVロケ地を地元へ誘致した樋渡武雄市長の手腕に感服し雨の中を熱心に語ってくださいましたボランティアガイドさんに感謝。

ふれあい旅行に遭遇のハプニングも旅の思い出、ほどなく祐徳稲荷に到着。お稲荷さんの石段をどなたも支障なく登り、奥の院まで足を延ばした健脚の人も。常盤の「がばいばあちゃん」盤の「がばいばあちゃん」健です。しかし、来年は若い方の参加もあるとよりに楽しいね。雪に雨、晴れたと思ったらまた雪、急転した天候にも動じず楽しいふれあいの旅でした。

藤本 詔子

## どんど焼き



ロードレース

どんど焼きは、年神様を煙と共に送り出す子ども文化の継承です。左義長とも言います。中国後漢の明帝時代に仏教と道教のどちらが優れているか試みるために、両方の經典を左右に置いて焼いたところ、右の道教の経は灰になり、左の仏教の経は燃えなかつたと言う。そこで「左の義長ぜり」との判定で左義長となる。

## 第二回親子スキー教室



転んだ数ほどうまくなるよ!

わたしは、今年ぜったいにスキーがすべれるよ

うになりたいと思ってこのスキー教室のスクールに参加してならうことにしました。同じクラスの友だちも行くと言っていたので、とても楽しみにしていました。

いよいよその日、朝のくらしいうちから、バスでしゅっぱつしてとてもわくわくしました。

スキー場に近づくとき雪がたくさんつもっていてびっくりしました。そして、スキー場について、スクールがはじまりました。それまでスキーは、すぐくかんたんだと思っていたけどすごくむずかしかったです。やっと少しすべれるようになりました。来年もならって、じょうずにすべれるようになりたいです。

二年 坪井 恵里花

## あるウオーク大会

子ども委員会の主催で、ウオーキングしながらクイズに挑戦しました。

何ですか?」など、見たことも聞いたこともないもので、子どもたちは常盤公園の歴史を学ぶ機会になったと思います。

彫刻や忘れ去られた史跡を題材にして問題が作られました。

「稲荷神社跡の石段の数は?」

「榎原のエゴにある四角な物は

今回は、出題形式を変えて、各ゾーンのコースアドバイザーから問題が出るためウオーキングしないと回答できないものです。小雪と強風の中を歩きまわりました。



車輪は全部でいくつ? 「坑夫」の作者は誰?

教室紹介 『箏曲教室』

私たちの箏曲教室は常盤校区ふれあいセンター（旧常盤市民センター）が開設の時から始めています。

成人の女性を対象にした教室です。生徒の人数は二十人ですが、楽しく箏を引くことを目的にしています。創設から続

けている方も、また最近始めた人も、藤金敏子先生の、優しく、厳しくもユーモアあふれた指導のもと、さまざまな曲に出

会い一つ一つの曲の奥深さを知り、出来上がった時の達成感を実感しています。そして稽古の後に皆さんとお茶を飲みながらの会話も弾みます。毎週水曜日を楽しみしています。

来年の春には、藤金先生主宰の三十五周年の記念演奏会があります。これからは演奏会に向け、良い演奏会に成るように頑張りたいと思っています。

第23回 常盤区民 インディアカ大会

宇部市民インディアカ大会の予選を兼ねて区民大会が開催されました。

男子の部  
優勝 北則貞  
準優勝 後岡ノ辻

女子の部  
優勝 大沢県営 1,2号棟  
準優勝 大沢西後

混成の部  
優勝 岡ノ辻  
準優勝 大沢西後



音色も、のどかな練習風景

箏を弾きたいと思っておられる方は、どうぞ私たちと一緒に弾いてみてください。お待ちしております。

世話人 西原宜子

生活の知恵ぶくろ

●包丁は皿の糸底で簡単に研ぐ

包丁の切れ味が悪くなったら、皿などの裏の糸底でこするようにして研ぎます。料理の最中でも簡単にできるのが便利などころ。砥石がなくても想像以上

●絹ごし豆腐は水の中で切る

に切れ味がよくなりやす。手を切らないように気を付けましょう。やわらかくてくずれやすい絹ごし豆腐は水の中で切ると形がくずれにくいだけでなく、このほうが味も落ちません。

七草粥（がゆ）みどりの会

七草粥の風習は中国由来のもので、平安中期頃に始まったとされる。中国では「六日年越・七日正月」と言われ、七日がひとつの節目とされていた。この七日は人を占う日「人日」と言い、七種の菜を暖かい汁物にして食し邪気を避ける習慣があった。日本では、



正月に疲れた胃袋を・・・

十五日の「小豆粥（あずきがゆ）」の影響により、室町時代以降に汁物から粥へと変わった。小豆粥には「米」「粟」「麦」「稗（ひえ）」「黍（きび）」「小豆」「胡麻」などが入れられ、「七種粥」と言われ小豆粥の影響と考えられる。何はともあれ、無病息災を祈って、春の七草（セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロ）とことんとん）人気の七草粥で今年も元気に過ごせます。

シリーズ⑥  
ときわの話  
いろいろ

くにざかい  
国境周辺

論瀨 (ろんぜ)

国境の鼻(亀浦古墳の海側)から国道を横切り、ふれあいセンターを通過して黒岩線の道路沿いに周防・長門の国境がある。周防は小郡宰判、長門は船木宰判の管轄であったことから境界争いで論議が盛んで解決せずに、話は瀨にのぼったことから「論瀨」となった。全国に「論瀨」「論議」の地名が国境に多い。

亀浦 (かめうら)

由来は、色々あるようだが「亀ノ浦」説が有力と思われる。昔、常盤から草江の海岸では海亀の産卵があつ

たと言われており、大正6年の記録に草江の海岸に3尺5寸(約1m)の海亀があがつたとあり、昭和25年には常盤の海岸にもあがつている。また、空港の沖には「亀の瀨」と言う瀨もある。



大沢 (おおさわ)

大きな沢がある所に多くある地名である、しかし「大沢(澤)」には見あたりません。

その昔、この地を開墾して農作物が収穫できる恵み(恩恵)に預かったことで、始めは「恩沢(おんたく)」と称して、その後大沢(おおたく)、

さらに現在の「おおさわ」と言う読みになった。

岡ノ辻 (おかのつじ)

「辻」は道ばたの十字路を意味するが、「岡(丘)」に向かつて何本かの道があり、床波からあがる古い道で、Y字三叉路の場所があつたことから、岡にある辻「岡ノ辻」と呼ぶようになった。

兵右衛門屋

(ひょうえもんやしき) 宇部興産の研究所あたりであつて、長門では「へいうえもん」と言い、周防では「ひょうえもん」と言う。

則貞の伝え話では、常盤原に池が造られることになり、住民が移住する際に、長である兵右衛門は「屋敷を確保しておくので困ったら帰っておい」と言つて送り出したそうです。

ぼやき川柳募集

世の中、前を見ても後ろを向いても暗いことばかり、せめてコミュニケーション常盤の紙面だけでも笑いで日頃の憂さを吹き飛ばそう。

そんなにも苦勞させたか妻のしわ

節約を力説している厚化粧

寄稿は、ふれあいセンターに募集の箱が設置してあります。FAX 22-1455 にても参加してください。●ペンネーム可

香典返し

次の方から香典返しとして、常盤校区社会協議会にご厚意いただきました。

村上 千五江様

ご夫君 敏彦様

鶴田 泰徳様

ご尊父 功様

藤井 信明様

ご尊父 貞朋様

朝田 郁子様

ご夫君 幾右衛門様

常盤校区社会福祉協議会

ペリカンの声

近年、子どもたちの人間関係が家庭・地域において希薄化していると言われ、その背景に少子化、核家族化をはじめ、屋外で遊ぶことを好まず家の中に「巣ごもり」する子ども、塾や稽古ごとなどに通う子どもが増加などが指摘されている。つまり、子どもたちの遊びに必要な「時間」「場所」「人」の条件が満たされないことから、人とのかわりが少ないため、子どもは、友だちとの付き合い方を身に付けられない。そのため、さまざまな問題行動が見られるのではないだろうか。

30年くらい前の新聞記事に「都会と田舎の子どもでは、どちらが多く屋外で遊んでいるか」とあった。自然環境に恵まれた田舎の方が多くと考えていた。しかし、田舎ほど屋外に出ないとあつた。当時は信じられなかつた。